

2024年度開発協力人材育成事業：募集分野

募集分野		登録番号	
■募集分野	フード・バリューチェーン	■募集人数（人）	1
■学位	修士		
■担当部署名	経済開発部 農業・農村開発第一グループ		
■募集の背景			
<p>開発途上国において、農業は食料供給や経済成長の基盤であり、貧困層の雇用と収入を支えています。また、農業は世界の雇用の4割を支える産業であり、農業生産の多くは家族農業（小規模農家）によって担われ、世界の食料の80%以上を供給しています。開発途上国においても経済発展に伴って消費者の食のニーズが多様化する中、農業生産量の拡大のみならず、こうした消費者ニーズに的確に応えることにより、開発途上国国内における付加価値が増大するとともに、地域雇用が拡大することが期待されています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、JICAは、生産から加工、流通、消費に至る一連の「フード・バリューチェーン(FVC)」の課題全体を俯瞰した上で、各プロセスにおける課題解決に向けた協力を展開しています。また、その各プロセスに小規模農家が参加でき、かつ正当な恩恵を享受できるような包摂的なFVC構築を重視しています。農産物のサプライチェーンがグローバル化・複雑化する中、FVC構築の支援にあたっては、各国における農産物流通システムの把握が重要です。また、民間企業との連携による協力効果の拡大が求められており、特に本邦企業による事業展開が進められている地域においては、本邦企業との連携促進が期待されています。</p>			
■本事業を通じて育成が期待される人材像			
<p>本ポストでは、農業・食品産業や地域振興・六次産業化などの従事経験者の方が、本事業を通じて農業経済・マーケティング等の修士号を取得することで、先方政府や国際機関との協調を図り、現場で案件形成・立案や事業を推進する専門家等として活躍する人材が育成されることが期待されています。</p>			
■想定される大学院の研究コース（及び研修内容）			
<p>農業経済学の中でも、特にマーケティング論、地域経済学、食料経済学などを専攻することを想定。国内外のフィールドワークも行う研究課題が望ましい。</p>			
■参考情報			
<p>世界が抱える課題への取り組み（農業開発／農村開発） https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/index.html</p>			
■研修修了後に想定されるJICA事業参画の時期・期間			
<p>学位取得後に1～2年程度JICA本部に勤務した後、専門家等として1年以上派遣されることを想定 * 面接時及び合格発表時、研修中等に本人と適宜相談の上、業務内容は変更の場合がございます。</p>			
■募集要項に記載の応募資格以外に受入れに関し求める要件（「必須」か「望ましい」かを選択し、具体的な要件を記載ください。）			
必須	国内または海外におけるアグリビジネス、農産物流通システム、マーケティング、産地形成・地域振興、地方創生、地域ブランディング、六次産業化等に係る知識・実務経験。		
望ましい	当該分野に関連する3年以上の実務経験を有すること。		
望ましい	JICA専門家/海外協力隊として1年以上の派遣経験もしくは同等の海外経験を有すること		
■備考・留意点			